


教員プロフィール

	<p>保育科 教授</p> <p>遠藤 清香 (えんどう さやか)</p> <p>Endo Sayaka</p>
所属	保 育 科
学位	博士（特別支援教育、応用行動分析）（オハイオ州立大学） 修士（心理学）（慶應義塾大学） 修士（教育学）（オハイオ州立大学）
資格・免許	小学校教諭二種免許状（平 17 小 2 第 23 号） 臨床心理士（登録番号 15454） 公認心理師（登録番号 26419）
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>1995 年 3 月 慶應義塾大学文学部人間関係学科心理学専攻卒業（学士（人間関係学））</p> <p>1997 年 3 月 慶應義塾大学大学院社会科学研究科教育学専攻修士課程修了（修士（心理学））</p> <p>2001 年 8 月 オハイオ州立大学大学院教育学研究科特別支援教育・応用行動分析学専攻博士課程修了（博士（特別支援教育、応用行動分析）、修士（教育学））</p> <p><職歴></p> <p>2001 年 7 月 Hawthorne Country Day School（私立特別支援学校：米国）教諭（2005 年 1 月まで）</p> <p>2005 年 4 月 山梨学院大学附属小学校（現在：山梨学院小学校）教諭（2013 年 3 月まで）</p> <p>2012 年 4 月 山梨学院大学健康栄養学部管理栄養学科（教職課程）兼任講師（担当科目：「教育相談」）（現在に至る）</p> <p>2013 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 准教授（2017 年 3 月まで）</p> <p>2017 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 教授（現在に至る）</p> <p>2017 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 科長（2020 年 3 月まで）</p> <p>2020 年 4 月 山梨学院短期大学 学長（現在に至る）</p>
担当科目	インクルーシブ保育Ⅱ 特別支援教育論 子育て支援の理論と方法 障害児保育特論 卒業演習Ⅱ 修了研究
専門分野	特別支援教育 応用行動分析学
現在の研究テーマ	インクルーシブ保育・教育の現場での行動コンサルテーションのあり方
競争的資金等の研究課題	産後ケアセンターの利用率向上を目的とした「ナッジ」に関するランダム化社会実験 (科学研究費 研究課題/領域番号 18K18614 2018～2020 年 継続)
所属学会	日本行動分析学会 日本教育心理学会 日本特殊教育学会 日本臨床心理士会 山梨県臨床心理士会 日本保育学会 日本数学教育学会 日本保育者養成教育学会
メッセージ	聴くこと、考えること、対話すること、を大切にしていきたいと思っています。学生の皆さんと一緒に勉強できるのがとても楽しみです。短大での2年間がみなさんの将来にとってかけがえのないものとなるよう努めてまいります。

教育	
2020年4月～2021年3月	
教育方針	子どもの自己肯定感を育むことができる保育者を養成したい。
授業	<p>授業の工夫</p> <p><インクルーシブ保育> 特別支援学校での勤務経験、小学校での特別支援教育コーディネーターの経験を生かして、インクルーシブ保育・教育の現状と課題について、事例を多く取り入れた授業を行った。WebClass を用い、意見交換の意見を多くするよう心がけた。</p> <p><特別支援教育論> 小学校教員を目指す学生のための少人数授業であった。Less Teaching, More Learning の考え方で、授業では最初に課題を与えあとは学生たち自身が活動しながら学びを深める構成とした。教科書は自宅で読んできて、授業では各学生が質問をし、その内容を元に討議することを基本の形とした。</p> <p><子育て支援の理論と方法> 保護者に寄り添った対応ができるよう、カウンセリングの技法をとり入れた面談技法をロールプレイを通して学ぶ機会を多く設定した。スキルを学生が自己評価できるようルーブリックの活用も行った。</p>
	授業改善のための取組
ゼミ	<p>ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)</p> <p>(卒業演習) ゼミ生13名がそれぞれ設定したテーマに沿って研究を行った(実践研究1件、インタビュー調査6件、アンケート調査3件、文献調査3件)。</p>
	卒業レポート・修了研究テーマ
課外活動	特になし

教育（つづき）			
2020年3月以前			
主な教育業績	<p><2020年度> ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック主催「第34回学生研究発表会」で修了研究を発表した。</p> <p><2018年度> 卒業演習で、ゼミ生が創作劇活動を行い、県内4つの保育施設・障害児施設で発表を行った。この活動は山梨学院学生チャレンジ制度に採択された。</p> <p><2016年度> 卒業演習で、ゼミ生が重症心身障害児者施設でのイベントの企画・実施を行った。この活動は山梨学院学生チャレンジ制度に採択された。</p> <p><2015年度> 卒業演習で、ゼミ生が児童養護施設退所者支援のチャリティー活動を行った。この活動は新聞2社の取材を受け掲載された。</p> <p><2014年度> 障害のある子どもとその家族のための映画観賞会を企画・実施した。この活動は、大学コンソーシアムやまなしの学生イニシアティブ事業に採択された。</p> <p><2014年度> ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック主催「第28回学生研究発表会」で修了研究を発表した。</p>		
	研究		
	2020年4月～2021年3月		
	タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
	（学術論文） 繰り返し起こる子ども同士のトラブルに対する保育者・小学校教諭の言葉がけの比較（共著）	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第41巻
	2020年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	
（著書） 新版「障害児保育」（コンパクト版保育者養成シリーズ）（共著）	2018年3月	一藝社	
（学術論文） 身近な相談相手の存在が地域ケアサービスの利用に及ぼす影響－山梨県における産前産後ケアセンターの利用動向に関する探索的分析－（共著）	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第40巻	
（学術論文） 山梨県における産前産後ケアセンターの利用動向とその規定要因：アンケート調査の結果を用いた実証分析（共著）	2020年3月	山梨学院大学経営学部経営論集 第1号	

研究 (つづき)		
2020年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 出産・育児における援助要請の判断―場面 想定法による実証分析― (単著)	2019年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第39巻
(学術論文) 保育現場における気になる子への支援―ト ークンエコノミー法を活用した不適応行動 の改善― (共著)	2018年2月	山梨学院短期大学研究紀要 第38巻
(その他: 報告書) 山梨県児童養護施設退所者調査報告書～退 所者の10年間のあゆみ～ (共著)	2018年3月	山梨学院短期大学地域連携研究セン ター (山梨県社会的養護研究会)・山 梨県児童養護施設部会
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2020年4月～2021年3月		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東私立短期大学協会 理事 (2020年～現在に至る) ・ 日本私立短期大学協会 理事 (2020年～現在に至る) ・ 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムやまなし 理事 (2020年～現在に至る) ・ 山梨学院小学校 学習カリキュラムセンター 常任研究員 (2005年～現在に至る) ・ 山梨学院小学校・山梨学院幼稚園 学習支援アドバイザー (2014年～現在に至る) ・ 山梨県子ども子育て会議 委員 (2018年～現在に至る) ・ 山梨人ねっこアートワーク 選考委員 (2019年～現在に至る) ・ 聖愛幼稚園 特別支援アドバイザー (2019年～現在に至る) ・ 笛吹市保育士保育内容研究委員会 助言講師 (2019年～現在に至る) ・ 山梨県臨床心理士会子育て支援委員会 副委員長 (2020年～現在に至る) ・ 山梨学院生涯学習センター 調査協力員 (2014年～2020年3月) 		
2020年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園 研修会講師 (2019年度) ・ 鳴沢保育所 園内研修会講師 (2018、2019年) ・ 山梨学院大学 免許状更新講習 講師 (2014、2015、2016、2017、2018、2019年) ・ 山梨県保育協議会主催 (山梨県委託事業) 保育士等キャリアアップ研修会 「障害児保育」講 師 (年2回) (2018年度、2019年度) ・ 山梨県保育所等訪問支援連絡協議会 保育所等訪問支援研修会 講師 ((2019年) ・ 山梨県児童館連絡協議会主催 放課後児童支援員認定資格研修会 講師 (2018、2019年) ・ 山梨県保育協議会主任保育士研修会 講師 (2019年) ・ 笛吹市石和第五保育園 特別支援アドバイザー (2019年) ・ 鳴沢保育所保護者会主催子育て講演会 講師 (2019年) ・ やまなし保育フェア あいさつ (2019年) ・ 第10回子ども・子育て支援全国研究大会 2019 in 山梨 第6分科会 講師 (2019年) 		
受賞 ※個人、所属団体		
特になし		